

活動報告集

こどもエコクラブは、幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。秋田県で43クラブ（休止4クラブ）、3,234人のメンバーが登録し、環境に関わる活動を行いました。

この報告集は、各こどもエコクラブから今年度行った活動について報告をいただき、まとめたものです。報告には、みなさんの今後の活動の参考となるところがたくさんあります。これからの活動がさらに広く深くなるための手助けになれば幸いです。



活動紹介

幼児

1 こひつじっこクラブ（秋田市）

3～5歳児44名の子どもたちで活動しているこひつじっこクラブ！今年で7年目になります。活動の日、お気に入りのエコクラブのバンダナを巻いて、園周辺のごみ拾いなどのお掃除活動を頑張っています。また、プランターでお花や野菜を栽培し、夏に収穫して味わうなど、植物の生命力や自然の力を感じて過ごすことができました。

これからも子どもたちと「エコってなんだろう？」「どんなことができるかな？」など考え話し合う機会を大切にしながらエコに関する様々な活動に取り組んでいきたいと思ひます。



野菜の苗を植えたよ



大きいキュウリを収穫したよ



みんなで育てたキュウリ、おいしいね

幼児

2 サン・パティオこども園こどもエコクラブ（秋田市）

環境学習として、年長クラスだけで由利本荘市の「木のおもちゃ館」へ、また、別の機会には年長・年中クラスいっしょに下浜の「清太郎さんの森」へ出かけました。「おもちゃ館」では木とのふれあい活動、木を使った工作、自然林散策と充実した活動ができ、たくさんの自然との関わりができました。また、「清太郎さんの森」での活動は、今年が初めてでしたが、清太郎さんの案内で本格的な森の散策をし、ゴールの「かっぱ沼」まで、さまざまな体験をしながらたどりつきました。どろんこになってしまった子もいましたが、自然のよさを満喫した一日でした。



あゆの森での自然体験活動
顔が隠れるほどの葉っぱ



清太郎さんの森
ゴールの「かっぱ沼」で記念写真

幼児

3 ナーサリー土崎わくわくクラブ（秋田市）

3～5歳児クラスの子ども達でエコ活動を行っています。家庭から空き箱やトイレトペーパーの芯等を園に持ってきてもらい、分別して手に取りやすい場所に設置し、自由に工作活動を楽しんでいます。また、ペットボトルで虫かごを作り、散歩先で見つけた自然物や虫等を持ち帰って園庭に放すことで、自然豊かにしようという取り組みも行いました。今後子ども達と一緒にできるエコ活動を考えながら行っていきたいと思ひます。



ペットボトル虫かご製作中！



園庭に虫を増やそう！



廃材を使った工作活動



幼児

4 十二所保育園エコクラブ（大館市）

本園では、さつまいもの栽培を通じた地域とのふれあいを大切にしています。そして、収穫したさつまいもをおいしくいただくのはもちろん、さつまいものつるは素敵なリースに大変身♪自然の材料でつくる楽しさや、資源を大切にすることを育む活動につながっています。

★捨ててしまうつるを上手に使い、ものを大切にする気持ちを育んでいます。（SDGs5・12）

★つるの形や手ざわりを感じながらいろいろな発見や学びが生まれます。（SDGs4）

リースを見ると、苗植えから収穫までの思い出がめぐり、温かい気持ちでクリスマスを迎えることができました♪



地域の方と力を合わせて！



中学生の手伝いでリースづくり



オリジナルデザインで完成♪

5 にしたてエコクラブ (大館市)

クマさん出没情報に神経を使った一年でした。16品目の無農薬野菜づくり、汗を流した分おいしくなるぞ〜、とばかりに、日課のごとく水やりや草取りに励む子どもたちのキラキラ笑顔は宝物です。「家じゃ食べないのに園では食べてる〜(母)」これほんとなんです。年少から年長クラスでは、さつまいもホットケーキや芋汁などクッキングをしていただきました。夏の畑活動を思い出したようで、「がんばってよかった」こんな声をもらい良かったです。



なんかおもしろい？
これなかなか？



さといもの葉傘
似合うでしょう



ナス
ゲットしたぜ〜

6 東館保育園こどもエコクラブ (大館市)

昨年度に引き続き、架け橋交流のある東館小学校が取り組んでいるペットボトルキャップ集めに協力しています。回収したキャップを年長児が小分けにして届けることが交流のひとつになっています。また、小学校との「おもちゃづくり交流会」を通して、廃材の利用方法を学びました。空き箱や食品トレイ、段ボール等を活用し、ヨットカーや牛乳パックパッチンをつくり、年長児が「わくわくおもちゃ屋さん」となり全園児で楽しんでいます。廃材に触れる中で、「リサイクル」に関心を持ち、「まだ使えるね」と物を大切にする気持ちにつながっています。



エコ配達隊



廃材を使って
おもちゃづくり



「すすめ！ヨットカー」

7 釈迦内保育園エコクラブ (大館市)

毎日の水やり、子どもたちの「早く大きくなあれ」の呪文、そして連日の好天気・・・今年度も様々な種類の野菜が収穫できました。収穫の中でも群を抜いてスイートバジルが大豊作。年長さんから「ピザ食べたい」との声があがり、クッキングを実施。食パン、ケチャップ、チーズなど手頃な材料でできるとあって、お家でも何度もリピして味わったようです。自分たちで作ったピザは「ミラクルナイス！」な味わいでした。



完成に大喜び！



優しくちぎっていい匂い



おいしそう！！

8 どれみ保育園エコクラブ (大館市)

本園では、鶏を50羽ほど飼育しています。生まれた年によってそれぞれのおうちがあり、産んでくれた卵は給食で美味しいいただいています。給食を作るときに出る野菜の皮などの残渣は、鶏のご飯として米ぬかや古米と一緒に炊き、鶏の糞尿は畑に返し栄養たっぷりの土として再生されます。

これらの仕組みを、子ども達は週1回の畑活動、エコ活動を通して楽しく学びながら実践しています。



「大きくなーれ！！」



「栄養いっぱい美味しそう」



「うん、うん、そうなんだー」

9 みつばっこエコクラブ (大館市)

本園の園庭にある畑に、毎年、子どもたちと相談して決めた野菜や花を植えて育てています。今年度、年長児・年中児クラスは、キュウリ、トマト、ズッキーニ、年少児は、ピーマン、オクラを選び、5月末に地域の民生委員の方々に協力してもらい、苗植えを行いました。子どもたちは、地域の方々と交流しながら、野菜や花の植え方や育て方を教えてもらい、興味・関心をもつ貴重な体験をすることができました。



野菜と花の苗植え



10 飯島南小学校6年 (秋田市)

理科「地球に生きる」の学習でSDGsについて知った子どもたちは、17の目標の中から興味をもった内容を1つ選び、世界の現状や日本の取組などについて調べました。調べた内容はプレゼンテーションソフトを用いてまとめました。みんなに分かりやすく伝えるために、クイズ形式などの工夫をして紹介しました。クイズを作る過程を通して、環境問題や対策についての理解を深めるとともに、友達のカイズを解くことで他の目標についても学ぶことができました。



SDGs 3択クイズ



「世界にはどんな問題があるのかな？」

11 雄物川小学校 (横手市)

本校では毎年、環境ボランティア委員会が中心となり、全校児童でアルミ缶とプルタブの回収と花壇整備に取り組んでいます。今年度も、月に1回程度玄関ホールで回収を行い、委員会の時間にアルミ缶回収の呼びかけ用のポスターやお便りを制作をしました。収益金を活用して、福祉に関わる物品等を購入し、年度末に地域の福祉施設に贈る予定です。また、花植えや水やり、草取り、校内外の清掃を定期的に行い学校の美化に協力しました。

今年は、委員会で、マリーゴールドの花言葉などを近くに掲示し、全校の人たちに興味をもってもらえるようにもしました。今後も、地域や学校のためになることを考えて活動していきたいと思っています。



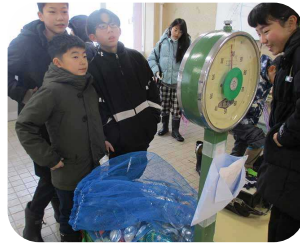
プルタブ持って

マリーゴールドの
植え付け

花の手入れ

12 醍醐小学校キラリエコクラブ (横手市)

りんごの里で有名な醍醐小学校キラリエコクラブは、今年度も夏休み最終日曜日に、PTAと小学生、地域住民、中学生ボランティアが一体となって資源回収に取り組み、新聞・雑誌、空き瓶や牛乳パックを集めました。また、児童会が中心となり、毎週金曜日にアルミ缶の回収を行い、その収益金を地域の老人福祉施設へ贈ることを目標にがんばっています。今年はアルミ缶に加え、牛乳パックも集めることで収益金が増えるよう、がんばっています。



アルミ缶回収の様子



資源回収の様子

13 浅舞小学校 (横手市)

平成24年より、身近な環境に目を向けるとともに、自然の良さに触れ、地域づくりに積極的に関わっていくことをねらい、ひまわり栽培を核とした「ひまわりプロジェクト」やアルミ缶回収に取り組んできました。今年は地域の保育園や老人介護施設、NPO法人と連携し、ひまわりの種を約135kg収穫することができました。これらの活動を通して、地域との連携、自然の恵みの豊かさ、リサイクルの大切さなどを学ぶことができました。



種取り作業のようす



満開のひまわりの前で

14 横手南小学校 (横手市)

本校では、全校児童で一人一鉢運動を行っています。今年も1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアになってペゴニアの苗を鉢に植えました。地域の方々も手伝ってくださり、学年で交流しながら楽しく活動しました。毎日水やりを行い、元気な花を育てました。6年生は横手川の自然を学びました。水土里ネットさん、漁協組合の皆様が横手川に住む生き物たちについて紹介していただきました。



一人一鉢



川の学習

15 大雄っ子エコクラブ (横手市)

環境教育支援校

昨年度、本校校地内にオープンした「たいゆうわくわくガーデン」。今年度も、地域の方々や全校児童が植栽活動を行いました。きれいな花を咲かせ、地域の方々に喜んでもらうと、水やりや草むしりを頑張りました。地域からは、のぼり旗を寄贈していただきました。1・2年生は、地域の先生から「押し花作り」を教えていただき、押し花を学習発表会でプレゼントしました。また、環境委員会が企画した「わくわくガーデン写真コンクール」の作品を大雄芸術文化祭に出品し、地域の方々楽しんでいただきました。



わくわくガーデンオープン



押し花作り



のぼり旗贈呈式

16 花岡小アルミ缶集めプロジェクト (大館市)

環境教育支援校

全学年で力を合わせて活動するふるさとキャリア教育。本校のテーマは「勇気・つながり・チャレンジ」。子ども同士がつながり、地域とつながり、自分達がやるべき事を見極めて自主的に進めるチャレンジ活動を行っています。5月は、地域をきれいにする目的で「ハッピーアップ大作戦! (地域の企業とタイアップして行われたクリーンアップ)」として実施されました。

そして3年生を先頭に通年で取り組むアルミ缶回収も、地域を巻き込んで行われています。今までに370kgという回収量となりました。この秋も、地域へのおたよりを通じて呼びかけながら、450kgを目指しています。



アルミ缶積み方作業



ハッピーアップ大作戦!

17 わきいちっ子クラブ (男鹿市) 環境教育支援校

「全校ウォークラリー」は、児童を12の縦割り班に分けて、全校児童で行う学校独自の行事です。学校近くの脇本海岸や脇本城跡などの自然や史跡を巡りながら、問題を解いたり活動したりして、班の正解率とタイムを競い、異学年でなかよく交流しています。海岸清掃では、ジオパークガイドの人たちと協力してごみの分別や外国の漂着ごみの発見をしながらSDGsについて学習しています。



ジオパークガイドの方とごみの分別中



縦割り班の友達とたくさんのごみの回収

18 西目シーガルクラブ (由利本荘市)

6月中旬、西目環境保全活動の会の方々と本校敷地内にある親水公園の清掃活動を行いました。

親水公園は、西目っこが大好きな公園です。休み時間はもちろん、理科や生活科、図工などの学習などで活動する場所です。春には桜がきれいに咲き、夏にはおたまじゃくしが元気よく泳いでいます。秋には落ち葉がじゅうたんのように広がり、冬は雪遊びをします。

当日は、地域の方々力を借りて、川の水を止めて池にたまった汚れを取り除きました。あっという間にきれいになることができました。また、夏休み中、西目環境保全活動の会の方々に、公園の草刈りをいただきました。おかげで夏休み明けも親水公園で元気よく遊ぶことができました。

これからも、私たち西目っこは親水公園を大事に使っていきたいと思います。



↑親水公園の清掃の様子↓



19 大豊小エコクラブ (潟上市) 環境教育支援校

本校では、校内にあるビオトープの生物について調査したり、八郎湖の生物について調べ、ビオトープの生物と比較したりするなど、ビオトープを活用した学習や八郎湖と関連のある学習を行っています。4年生は、八郎湖の湖岸の観察や水生生物の調査を行いました。5年生は、石川翁ゆかりの地の草木谷で稲を育て、わらを大森山動物園に贈呈する活動を行っています。6年生はビオトープの内の水田でもち米を植えたり、清掃を行ったりしました。これらの体験活動を通して、自然を愛し、ふるさとの環境を大切にしようとする心が育まれています。



ビオトープの田植え



八郎湖の生物の調査

20 角間川小学校エコクラブ (大仙市)

本校では、今年も自然とふれ合いながら身近な環境を守る活動に全校児童76名で取り組んできました。今年も、縦割り班「なかよしグループ」で、花壇にマリーゴールドを植え、畑ではさつまいもを育てました。

エコ委員会では、今年も朝顔とゴーヤを育てて緑のカーテンをつくりました。猛暑で育てるのは大変でしたが1階の教室では涼しく過ごせるようになりました。また、毎日の放送で、節電・節水を呼びかけ、全校のみんながエコを意識できるようにしてきました。来年度も、エコな学校を目指して取り組んでいきたいと思っています。



ゴーヤの緑のカーテン



さつまいも掘り

21 横堀小学校エコクラブ (大仙市)

本校では「ふるさとのよさに気付く体験活動」を大切にしています。

学区内を探検して地域の魅力を発見し、ふるさとの自然を大切にできるように一人一鉢で花を育てたり、花壇のお世話をがんばったりしています。さらに、田んぼの学習では田植えや稲刈りに加え、泥んこ遊びも楽しみました。

多くの体験授業で、ゲストティーチャーを招き、ふるさとへの思いに触れています。こうした活動を通じて、ふるさとのよさを実感し、その環境を守ろうとする気持ちを育てていきたいです。



田んぼで泥んこ遊び



田植え体験

22 井川義務教育学校自然観察クラブ (井川町)

今年度も地域の先生に協力していただきながら、「国花苑の植物観察」「竹とんぼ作り」「井川の水質調査」など、自然と触れ合う体験を行うことができました。子どもたちからは、「身近な国花苑にある植物について知ることができた」「川にたくさん生き物があると分かって面白かった」などの声が聞かれました。

これからも、ふるさと井川の自然を大切にしていけるよう、子どもたちの活動をサポートしていきたいと思います。



水質調査



23 秋田大学教育文化学部 附属中学校国際情報・科学部 (秋田市)

今年度、科学コースではグループ研究、自然科学学習館のワークショップへのブース出展を行いました。また、科学の甲子園ジュニア全国大会へ出場することができました。

グループ研究では、クリーンな発電、水質浄化、ペーパーベジタブル、液状化現象など、自然と日常生活が関わる内容の研究を行いました。秋田市の理科研究発表会において、県の発表会への推薦をいただきました。残念ながら発表会は中止となってしまいましたが、自然との関わりを考えるよい機会となりました。



ワークショップ



↑研究発表↓



24 秋田南高校中等部 (秋田市)

自然科学部は4つの班に分かれて、「イシクラゲ (陸上の藻類) の生長」「校地内の植物の色素の抽出」「猿田川の微生物の観察」「土中の微生物による発電」をそれぞれのテーマとして研究しています。現在は部活動内の発表会の準備を進めており、まとめたものは次の学校祭等で紹介する予定です。この研究内容が環境問題とどのように関連するかを考え、自然を大切にする意識を高めていきたいと思います。



色素の抽出



水中の微生物 (ボルボックス)

25 男鹿東中学校 (男鹿市)

私たちは今年度も、地域貢献活動の一環として、全校生徒262名が9か所に分かれ、海岸清掃や道路清掃などを行いました。生徒からは、「見違えるほど海岸が綺麗になり、自分の行いが地域に貢献しているという実感をもつことができた」「ごみをなくすためには、ポスター作成や定期的なごみ拾いをする必要がある」「今後も地域の一員として活動に積極的に参加する必要がある」といった感想が聞かれました。



こんなに大きなごみがありました!



道端のごみを拾っています

26 湯沢南中学校自然科学部 (湯沢市)

今年はヒョウタンとアサガオの緑のカーテンを作り、収穫した種を学校祭でプレゼントしました。ヒョウタンの花は盛夏に咲きます。アサガオは、ヒョウタンの花が枯れて実が成熟する初秋に咲きました。残暑が9月まで続いたため、アサガオは例年より長く楽しめました。切れ目なく緑のカーテンを楽しめるように、特徴を調べながら植える植物を選びたいと思います。



アサガオの緑のカーテン



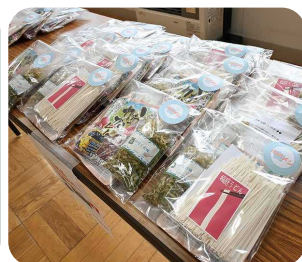
ヒョウタンの実

27 稲川中学校 (湯沢市)

本校では、4年前から地域の活性化を目指し中学生が経営する模擬株式会社 iNA-CO を設立し、地元業者と協力して商品開発や販売会等を行っています。環境を考えたSDGsの取組として、規格外の枝豆やりんご、ねぎ等の地元特産を加工した商品開発を行い、たくさんの方々喜んで頂いています。さらに地域を巻き込んで、地域のPRにつなげていきたいと思っています。



ハート型りんご



稲庭うどん

28 大曲南中学校 (大仙市)

環境教育支援校

本校では、1年生が「食と住」2年生は「エネルギーと気候変動」3年生は「世界平和と国際理解」を視点に、SDGsの取組と各教科の学習を展開しています。キリバスの中学校とのオンライン交流、未来のエコシティやエコハウスを考える学習、気候変動ミステリー授業、服のカプロジェクトなどの取組を通して、環境について生徒の関心は高まっており、自ら課題を見つけ探究する生徒や、大仙市のSDGsレポーターとして活躍する生徒が出てきました。生徒の主体的な活動が評価につながり、令和7年度秋田県環境大賞を受賞しました。



キリバス交流



気候変動ミステリー授業

29 太田中学校 (大仙市)

環境教育支援校

本校では、今年も全校生徒 108 名で、学校花壇に 3,500 株以上の苗を植え、色とりどりの花を咲かせました。毎朝、自分たちで花の水やりと除草作業を行いました。満開に咲いたペコニアのプランターを 100 個、東日本大震災の被災地へ送る活動も続けています。また、夏休みには、PTA 親子共同作業を行い、学校花壇と校地内の整備作業を行っています。

今年は秋田県学校関係緑化コンクールで知事賞を受賞しました。



プランターの手入れをしている生徒



朝の水やりをしている生徒

30 新屋高等学校理科研究部 (秋田市)

環境教育支援校

新屋高校理科研究部は、地域の自然環境保全と科学的探究を柱に活動しています。今年度も、秋田市大森山動物園塩曳湯で外来種対策や在来種の保全に取り組み、NPO や大学と連携したモニタリング調査・駆除研究を続けています。また、SDGs にも視点を広げ、外来種の有効活用に関するプロジェクト（アメリカザリガニの肥料・疑似餌）にも挑戦しています。様々な研究コンテストや販売会に参加・発表し、研究成果を発信しています。

[参考]・環境甲子園特別奨励賞

- ・日本学生科学賞秋田県大会審査員特別賞
- ・全国ユース環境活動発表大会東北地方大会優秀賞



モニタリング調査の様子



アメリカザリガニ肥料の成果



アメリカザリガニ疑似餌紹介＆販売

31 天王みどり学園高等部 アグリサービス班 (潟上市)

環境教育支援校

花壇（グリーンガーデン）と畑（グリーンファーム）の両輪で、働く力や地域貢献することの大切さについて学習しました。花壇では、熱中症対策をしながら夏場の管理をがんばりました。畑での活動では、秋田県立大学の櫻井教授から本格的な農業を指導していただきました。オリジナル商品（干し芋、みそ漬け）を作って、校外での販売活動をしました。冬の作業では、高齢者宅での除雪活動と果樹園で使う「まめこばちの巣」を作る活動を予定しています。



大根の収穫



櫻井教授の指導（玉ねぎの定植）

32 あきた緑の少年団 (秋田市)

夏は熱中症、秋からはクマの出没で、外遊びができなく残念でした。前半は自然の中で体験をしました。5月は獅子ヶ鼻湿原、7月は昨年のリベンジで秋田駒ヶ岳、9月の栗駒は天気が悪く、散歩程度でした。

10月は森林教室と防災教室に参加し、森林教室では「温暖化と森林の関係」についてカードゲームで「森の一生」を学び、丸太切りで「コースター作り」を楽しみながら体験しました。防災教室でも温暖化の影響で自然災害が多くなっていると学び、防災意識を持つ大切さを知りました。



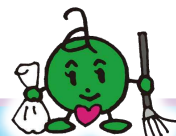
阿弥陀池の前で！



初めてのノコギリ体験



防災教室の最後は、じゃんけんてハピネットグッズ争奪戦！



33 ひろおもてエコクラブ (秋田市)

秋田市東部の広面地区を主なフィールドとして、地域のこどもたちとサポーターで、クリーンアップや自然観察、環境学習などを行っている地域クラブです。

地域に住むサポーターと共に活動するほか、川に棲む水生生物や、森の中の生き物などについては専門の先生に教えていただくこともあります。また、夏に行うホタル観察は、住宅地の近くで飛ぶホタルの発見に、子どもも親も大喜びです。

1年の活動を壁新聞にまとめて、学校や公民館で多くの方にご覧いただく機会もいただいております。

今後も子どもたちの気づきを大切にしながら、身近な地域から環境に関する関心を広げていきたいと思っております。



川での水生生物の採取



川での水生生物調査にみんなで参加しました

34 イオン秋田中央チアーズクラブ (秋田市)

イオン秋田中央チアーズクラブは小学生 21 名・中学生 1 名で活動しています。

今年度は雄物川のごみゼロ活動から始まり、恒例のじゅんさい摘み取り体験や白神山地植樹活動、男鹿水族館 GAO ではハタハタについて学びました。

今年度も元気いっぱいの活動でした。



みんなで協力した植樹活動



時間が足りない！夢中で楽しんだハタハタ学習と館内見学



豊かな森を目指して！

35 聴覚支援学校幼稚部 & 小・中学部 (秋田市)

環境教育支援校

日当たりが良すぎる本校は、緑のカーテンづくりに挑戦することにしました。幼稚部生が「大きくなってね」と願いを込めてゴーヤの苗を植えました。教室と畑の間に網を張り、小・中学部生が水やりをしました。つるが伸びて驚き、花が咲いたのを愛で、小さな実を収穫して大喜びしました。暑さのせいかゴーヤは思ったほど茂りませんが、自然や植物に興味をもち、自分たちができるエコを考える機会になりました。来年も挑戦しようといんなで話しています。



ゴーヤの苗植え



毎日の世話

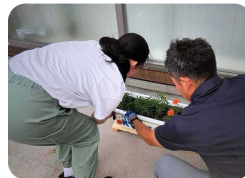
36 栗田支援学校 (秋田市)

環境教育支援校

今年は学校の花壇4か所と近隣施設の花壇3か所に花を植え、近隣地域へプランターを31か所設置しました。地域の人々が喜ぶような彩りやデザインを考えながら、種から育てたマリーゴールドやサルビア、センニチコウなどの花を植えました。植栽活動中に掛けられる「いい花だね」「きれいな花をありがとう」「がんばってね」などの言葉に励まされながら手入れを行い、また次の年に向けて準備をしました。



正面花壇の植栽



プランターの設置



大森山動物園での植栽交流



37 比内支援学校たかのす校 (北秋田市)

今年も最寄り駅やバス停、地域のご高齢者のお宅や老人介護施設の清掃・除草活動、駅への花のプランター設置活動を行いました。

高等部が「地域のために」と考え、平成13年度、たかのす銀座通り商店街へのプランター設置を始めました。平成24年度からは、年間を通して地域のために活動したいと考え、地域のご高齢者のお宅を訪問しての除草・除雪活動も始めました。中学部は平成26年度の除雪から参加しました。それ以降、中学部・高等部合同での除草、除雪を年間、各2回行っています。



除草の様子



駅清掃の様子

全国エコ活コンクール 応募作品紹介

「全国エコ活コンクール」は、子どもたちの環境活動の成果を壁新聞やデジタル作品で発表する場です。

3月に開催される全国フェスティバルでの表彰に向け、今年度の応募作品をご紹介します。

なお、本フェスティバルは、今年度をもって幕をとおじることとなりました。

壁新聞部門

あきた緑の少年団



メンバーからのメッセージ

秋田には風力発電の風車がたくさんあります。校外学習でも風車について勉強してきました。こちらに来ることがあれば風車を見てみてください。

サポーターからのメッセージ

今年は何をまとめようかとテーマ探しから始め、そこから気になること、自分たちができることを出し合い、壁新聞づくりに取り組みました。メンバーの得意分野を活かし、文章・イラストなどを分担して頑張りました。

メンバーからのメッセージ

今、クマが出ていて、クマ鈴をつけて登校し、ニュースを見ると、不安になります。その中で遠くから「クマがかわいそう」などという人がいるけど、今の私たちの状況を知ってほしいと思います。

サポーターからのメッセージ

たくさん、皆で話合って作成しました。今はいないのですが、毎年冬眠のクマに会いに行くという方がいました。温暖化は難しい内容なので、クマへの不安をまとめました。

壁新聞部門

ひろおもてエコクラブ



壁新聞の内容はコチラ





動画作品の
内容はコチラ



新屋高等学校は、秋田市大森山動物園内の塩曳潟にて、令和3年度より希少な在来生物の保全活動に取り組んでいます。活動では週に一度、伝統的な漁具である「モンドリ」を用いた調査と外来生物の駆除を継続しており、外来種の捕獲数は減少傾向に転じる成果を上げています。

具体的な取組内容として、駆除したアメリカザリガニを「厄介者」から「資源」へ変えるアップサイクルに挑戦しています。冷凍・粉砕したザリガニを肥料化し、さらに海洋プラスチックごみ問題の改善も視野に入れた釣りの擬似餌「グミワーム」を業者と一緒に共同開発しました。成果としては、アメリカザリガニ肥料が化成肥料以上の生育効果を持つことを実証し、コマツナ栽培における最適量を特定しました。

今後の目標は、生態系保全を深化させつつ、肥料の実用化や擬似餌の普及展開を図ることです。地域の宝を未来へつなぐため、付加価値の高い有効活用を推進していきます。



こどもエコクラブ
イメージキャラクター
「エコまる」

令和7年度 登録クラブ一覧

43クラブ
3,234名

幼児クラブ			小学生クラブ		
①こひつじっこクラブ (44名) 秋田市	②井川義務教育学校自然観察クラブ (10名) 井川町	平沢小学校 (263名) にかほ市	⑩飯島南小学校6年 (63名) 秋田市	⑪雄物川小学校 (305名) 横手市	⑫醍醐小学校キラリエコクラブ (92名) 横手市
②サン・パティオこども園こどもエコクラブ (19名) 秋田市	ありうらエコクラブ 大館市	③ナーサリー土崎わくわくクラブ (76名) 秋田市	⑬浅舞小学校 (221名) 横手市	⑭横手南小学校 (465名) 横手市	⑮大雄っ子エコクラブ (123名) 横手市
こども園こうほく風の遊育舎 (64名) 秋田市	中学生クラブ	④十二所保育園エコクラブ (13名) 大館市	⑯花岡小アルミ缶集めプロジェクト (29名) 大館市	⑰わきいちっ子クラブ (104名) 男鹿市	⑱西目シーガルエコクラブ (16名) 由利本荘市
⑤にしたてエコクラブ (21名) 大館市	②秋田大学教育文化学部附属中学校国際情報・科学部 (54名) 秋田市	⑥東館保育園こどもエコクラブ (13名) 大館市	⑲大豊小エコクラブ (61名) 湯上市	⑲角間川小学校エコクラブ (76名) 大仙市	⑲大曲南中学校 (21名) 秋田市
⑦釈迦内保育園エコクラブ (53名) 大館市	⑤男鹿東中学校 (262名) 男鹿市	⑧どれみ保育園エコクラブ (24名) 大仙市	⑳角間川小学校エコクラブ (76名) 大仙市	⑳大曲南中学校 (21名) 秋田市	⑥湯沢南中学校自然科学部 (18名) 湯沢市
⑨みつばっこエコクラブ (15名) 大仙市	⑦稲川中学校 (131名) 湯沢市	⑨みつばっこエコクラブ (15名) 大仙市	㉑横堀小学校エコクラブ (16名) 大仙市	㉑太田中学校 (108名) 大仙市	⑦湯沢南中学校自然科学部 (18名) 湯沢市
	高校生クラブ				⑧稲川中学校 (131名) 湯沢市
	⑩新屋高等学校理科研究部 (10名) 秋田市				⑧大曲南中学校 (61名) 大仙市
	⑪天王みどり学園高等部アグリサービス班 (10名) 湯上市				⑨太田中学校 (108名) 大仙市
	秋田南高等学校自然科学部 秋田市				
	異年齢混合クラブ				
	⑫あきた緑の少年団 (28名) 秋田市				
	⑬ひろおもてエコクラブ (7名) 秋田市				
	⑭イオン秋田中央チアーズクラブ (22名) 秋田市				
	⑮聴覚支援学校幼稚部&小・中学部 (14名) 秋田市				
	⑯栗田支援学校 (261名) 秋田市				
	⑰比内支援学校たかのす校 (41名) 北秋田市				
	わくわくエコ工房 秋田市				
	大曲支援学校 大仙市				

※クラブの番号は、「活動紹介」の番号と対応

★「環境教育」に関する秋田県の
事業についての詳細はコチラから



★こどもエコクラブに
登録するにはコチラから



※登録・年会費は無料です。

編集：こどもエコクラブ地域事務局
秋田県地球温暖化防止活動推進センター
(認定NPO法人環境あきた県民フォーラム)
〒010-0951 秋田市山王5丁目7番6号 林泉会館
TEL：018-853-6755
FAX：018-853-6765
E-mail：mail@eco-akita.org



環境あきた県民フォーラム
オリジナルキャラクター
くーるちゃん



センターHP

発行：秋田県生活環境部温暖化対策課
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号
TEL：018-860-1560 FAX：018-860-3881
E-mail：en-ondanka@pref.akita.lg.jp

できることからはじめよう！
みんなでストップ・ザ・温暖化あきた

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。